



# 五小だより

国立市立国立第五小学校  
学校だより

No. 4

平成30年5月31日

## ツバメの子育て！

校長 中村 寿

今年も、我が家の玄関のいつもの所に、ツバメが巣を作りました。5羽の雛が大きな口を開けて鳴いています。親鳥が餌を運んでくるのを待っています。親鳥は、せっせと餌（捕らえた虫）を運んで、雛に口移しで餌を与えます。しかも、偏らないようにと順番に餌を与えているように見えました。だれに教えられたわけでもなく、親ツバメは雛のために、せっせと餌を運びます。これは、わが子を育てよう、一人前にして独り立ちさせようというツバメの本能です。それが、動物たちには備わっているのです。毎年この時期は、カラスや蛇に襲われないように、無事雛が巣立ってくれますようにと見守る毎日です。

雛の成長によって巣がせまくなってきたように見えました。その頃になると、後ろ向きになって巣の縁で、羽をばたつかせる動作をくり返すようになりました。巣立ちの時を予期させる動作にも見えました。巣立ちが近づくと、突然親鳥が餌を与えなくなります。餌を持って巣に近づきますが、すぐには与えません。雛は、餌をねだって盛んに鳴きます。身体をいっぱいになり出し、大きな口を開けます。でも親鳥は、餌を与えようとしません。巣に近づき、急に方向転換をして飛び去ります。またもどってきては巣のすぐ近くにとまります。「早く出てきなさい。」「ごはんはこっちだよ。」親鳥は、誘っているのです。そして一人立ちに向けて餌の取り方を教えます。もう巣立ちの時期。親鳥の判断は確かです。



ところが、ある朝、1羽だけ巣から落ちて飛べないでいる雛がいました。親鳥は、何度も何度も低い位置を飛んだり、地面に降りたりして、飛び立たせようとしていました。でもなかなかうまくいきません。このままでは、親鳥も世話をしなくなるし、カラスや猫に襲われてしまうかもしれません。何とかして助けることはできないものだろうか。私は、あることを思いつきました。そっと雛を抱えて、巣に戻してやろう。人間のおいがつくと雛の世話をしなくなると聞いたことがあるので手袋をはめて慎重にやりました。翌日、その雛は、親鳥が来るのをずっと待っていましたがなかなか来ません。しばらくたって、やっと親鳥がきて世話を始めました。こうしてツバメの雛は成長し、厳しい大自然の中へと飛び出していくのです。

親ツバメの一連の子育ての行動を見ているとき、親ツバメに「優しさ」と「厳しさ」を感じます。子どもは親元を離れていくときがやって来ます。そのとき、子どもが自分の足で歩き始められるように、その力を付けてあげること、その力をたくわえてあげること、それが親、大人の役目であると思います。ツバメの子育てを通して様々なことを考えさせられました。

## 「答えを探す旅～五小まつり～」(児童の様子から)

4年担任 宇野 直人

入学・進級して2か月が経ち、各学年各クラスの子供たちも新しい生活に慣れてきている様子です。3年生以上の子供たちは、1学期に行われる大きな行事の一つ、先日行われた五小まつりの成功に向けて意欲的に取り組んでいました。当日、来校していただいた皆様は、見ていただけたかと思いますが、どの子も生き生きと取り組んでいたのではないのでしょうか。

学習指導要領の改定に伴い、「生きて働く 知識・技能」、「未知の状況にも対応できる 思考力・判断力・表現力等」、「学びを人生や社会に活かそうとする 学びに向かう力・人間性等」を柱とする資質・能力の育成が求められています。

計画段階で自分たちの経験を寄せ合い、意見をぶつけ合う場面があったであろうことは想像に難くありません。教科書のない、AIではたどり着けないであろう答えを探す学びです。実際にお客さんを迎えて、忙しかったり、大変だったりとあるかと思えます。けれども、教科書を使わず、自分たちで必死に考えるからこそ大きな学びにつながるのではないのでしょうか。今回経験したことが、子供の次の学びにつながるよう、教職員一同支えていきたいと改めて感じさせられた五小まつりでした。

## 道徳授業地区公開講座について 道徳部 井上 明日香

6月16日(土)に、授業公開並びに道徳授業地区公開講座を開催いたします。道徳の授業を通して、子供たち一人ひとりが自己の在り方を見つめたり、他者への思いやりについて考えたりしながら、よりよく生きる力を伸ばしていけるよう取り組んでいきます。また、この講座は、学校関係者はもちろん、保護者の方や市民の方々にも参加していただき「学校・家庭・地域社会」における道徳教育の在り方やその連携について、相互に理解を深めることをねらいとしています。

今年度は「共生社会をつくるセクシュアル・マイノリティ支援全国ネットワーク」代表の原ミナ汰さんを講師としてお招きし、3時間目に5・6年生への特別授業、4時間目に保護者・地域の方を対象とした講演会を体育館で行います。1～4年生、つくし学級では2時間目に道徳の授業を担当が行います。ぜひ多くの方にご参観・ご出席いただき、これからの道徳授業の充実のために貴重なご意見をいただけますようお願いいたします。

## 水泳指導について

活動部 岩田 耕平

11日(月)より水泳指導がはじまります。子供が水に親しむことを大切に、意欲的に泳ぐ力を身につけられるよう指導していきたいと考えています。教職員一同、安全第一で取り組んでまいりますのでよろしくお願いいたします。

今年度も1学期に集中して水泳指導を行います。どの学年も週に2回の水泳になります。また、3年生以上を対象に水泳帽に検定の級表示を行います。マジックテープの貼付のご協力をよろしくお願いいたします。水泳指導がある日には健康観察をよく行い、水泳カード(押印)・水着等、忘れ物がないように確認をしてください。帽子・水着等の様式については、後日配布のお便りをご覧ください。

## PUTについて

活動部 樽見 顕奈

今年度は年間12回、木曜日の中休みにパワーアップタイム(PUT)を実施します。今年度の初回は本日でした。クラスごとに1つの運動種目に取り組みます。種目は全部で12種類あります。この取り組みを通して体力向上はもとより、子供たちが運動する楽しさを感じ、日常的に運動するようになることを願っています。また、体育委員会が中心となり、パワーアップイベント(PUE)も実施します。楽しみながら体力向上を図っていけるようなイベントを企画していきます。

## 体力テストについて

活動部 原田 翼

今年度は、6月中旬から下旬にかけて「東京都統一体力テスト」を実施します。種目は、「50m走・立ち幅跳び・ソフトボール投げ・握力・上体起こし・長座体前屈・反復横跳び・20mシャトルラン」の8つです。本校では、「体力向上プラン」と称し、子どもたちの体力向上を目指した取り組みとして、休み時間に行うパワーアップタイム(PUT)と体育委員会企画のパワーアップイベント(PUE)を行っています。その成果が、少しずつですが体力テストの結果に表れています。結果は秋ごろにお返しします。お子さんの成長を、体力という視点からもぜひご覧ください。6月29日の測定日には正確な測定のため、保護者の方のお手伝いをお願いしたいと思います。後日お知らせを配布いたしますので、ご協力をお願いいたします。

## セーフティ教室について

生活部 土橋 達也

本校では、全校児童を対象に様々なテーマでセーフティ教室を行います。5月には、1年生が交通安全教室、2年生は防犯教室を行いました。6月には、14日(木)に4年生と6年生を対象にNTTドコモの方をお招きして「情報モラル」の授業が行われ、5年生を対象に東京国立ライオンズクラブの方をお招きして「薬物乱用防止教室」が行われます。また、22日(金)には3年生を対象にブリヂストンの方をお招きして「自転車安全教室」が行われます。授業は公開しておりますので、多くの保護者の皆様にもご参観いただければと思います。地域と保護者の皆様と学校が連携を深めて児童を育てていけたらと願っております。なお、時間の詳細については学年便り等で確認してください。

## 6月行事予定 生活目標 遊びの工夫をしよう

1日(金)	教育実習終(1-2, 4-2)	読書月開始	
4日(月)	委員会活動		
5日(火)	日光移動教室事前検診(6年)	お話し会(3年)	
6日(水)	全校朝会	日光移動教室始(～8日)(6年)	
7日(木)	お話し会(つくし)		
8日(金)	桜守活動(5年)		
11日(月)	水泳指導始	安全指導日	クラブ活動
13日(水)	児童集会	引き取り避難訓練(5校時)	
14日(木)	PUT	セーフティ教室(4・5・6年)	
15日(金)	お話し会(1年)		
16日(土)	学校公開・道徳授業地区公開講座		
	たてわり集会		

18日(月)	あいさつ週間始	クラブ活動	
20日(水)	全校朝会	研究授業	
		4時間授業(5-2以外)	
21日(木)	歯科健診(全)	桜守活動(5年)	
22日(金)	あいさつ週間終	セーフティ教室(3年)	
25日(月)	田植え(5年)	クラブ活動	読書週間始
26日(火)	保護者会(1・2・3年)		
27日(水)	音楽朝会	体力テスト(5・6年)	4時間授業
28日(木)	体力テスト(1～4年)		
29日(金)	保護者会(4・5・6年、つくし)		
	田植え予備日(6年)	読書週間・月間終	

